

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 : 塩化第二鉄液

会社名 : 株式会社土田商店
住 所 : 諏訪郡下諏訪町 242-1
代表者 : 土田耕嗣
電話番号 : 0266-28-3232
F A X : 0266-28-3235
整理番号 :
緊急連絡先 : 諏訪化成センター
担当者 : 五味 国博
電話番号 : 0266-73-2500

2. 組成、成分情報

単一製品・混合製品の区別 : 単一製品

化学名 : 塩化第二鉄、塩化鉄 (Ⅲ)

成分及び含有量 : 40° Be FeCl₃ 37%以上
: 42° Be FeCl₃ 39%以上
: 45° Be FeCl₃ 42%以上

化学式又は構造式 : FeCl₃

官報公示整理番号 : 化審法 既存化学物質 (1)-213

安衛法通知対象物質 : 塩化第二鉄 37%以上

C A S N o : 7705-08-0

国連分類 : クラス 8 (腐食性物質)

国連番号 : 2582

3. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 皮膚腐食性/皮膚刺激性 : 区分 1A
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分 1
急性毒性 : 経口 : 区分 4
生殖細胞変異原性 : 区分 2
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) : 区分 2 (全身毒性)
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) : 区分 3 (気道刺激性)
水生環境有毒性 短期 (急性) : 区分 2
水生環境有毒性 長期 (慢性) : 区分 2

GHS ラベル要素 :



危険

危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷

飲み込むと有害
遺伝性疾患のおそれの疑い
臓器の障害のおそれ（全身毒性）
呼吸器への刺激のおそれ
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に毒性

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

分類の名称	: 急性毒性物質。腐食性物質
危険性	: 金属類、コンクリート等を腐食する。
有害性	: 皮膚、粘膜と接触すると炎症を起こす。特に眼等の粘膜には、激しい炎症を起こす。摂取した場合、口や喉を刺激し、悪心、吐き気、胃内出血を起こす。吸入した場合、呼吸器系に炎症を起こし、呼吸困難を起こすことがある。

4. 応急処置

眼に入った場合	: 直ちに多量の水を用いて15分以上洗浄する。洗浄の際はまぶたを指で開いて、眼球・まぶたの隅々まで十分に洗浄すること。洗浄後は速やかに医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合	: 汚染された衣類を脱がせ、直ちに接触部位を多量の流水で洗う。洗浄しても違和感が残る場合には医師の診察を受ける。
吸入した場合	: ミスト等を吸入した場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、うがいを行い、保温、安静に努める。呼吸に異状が認められたときは人口呼吸等を施し、速やかに医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに水でよく口の中を洗い、多量の水を飲ませ嘔吐させる。速やかに医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法	: 本製品自体は不燃性である。 周辺火災の場合は、直ちに容器を安全な場所へ移動する。移動不可能の場合は、容器及び周辺に散水して冷却し、容器の破壊を防ぐ。熱により分解が起こり、有毒で腐食性の塩化水素や塩素ガスを生成するために、消化活動には適切な保護具を着用し、風上より行なう。
------	--

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 風下の人を避難させる。漏洩した場所の周囲にロープを張るか、または付近に警告を発するなどして人の立入りを禁止する。 漏洩した箇所の修理、その他の作業をする場合は、保護眼鏡、保護手袋、長靴、保護衣、安全帽など適切な保護具を着用する。必要に応じて消防機関、保健所、警察署へ通報する。
環境に対する注意事項	: 環境への流入は、pHの低下や懸濁物を増加させる。
除去方法	: 少量の場合は水で希釈し、還元剤（ハイポ等）溶液に混合し、還元する。ソーダ灰で中和し、希釈廃棄する。

多量の場合は盛土等で流れを止め、土砂等に吸着させるか、または安全な場所に導いて漏洩拡大を防止する。
本剤は強酸性なので消石灰等で中和し、残留固形物が少ない場合は多量の水で洗い流す。多量の場合は容器に残留固形物を回収し、公共用水域に流さない措置を行い、専門の産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 強酸性、酸化性を有するので、作業する時は必ず必要な保護具を着用し、近くに十分な水を用意しておく。
本剤を中和するときは、多量の熱が発生するので徐々に行なうか、または水で希釈してから行なう。
- 保管 : 腐食されない材質（FRP、ポリエチレン、硬質塩ビ、硬質ゴム等）の容器に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない（労働省告示79号）
許容濃度 : 日本産業衛生学会（1999年度版） 記載なし
1mg/m³（Feとして） ACGIH-TWA（1997年）
- 設備対策 : 換気、局所排気
- 保護具 : 保護眼鏡（安全ゴーグル）、保護手袋（ゴム手袋）、保護衣（作業衣、作業帽子）

9. 物理的及び化学的性質

- 外観等 : 黒褐色の液体。微塩酸臭
- 比重 : 40° Be 1.38 (15°C)
42° Be 1.41 (15°C)
45° Be 1.45 (15°C)
- 沸点 : 40° Be 112.5°C
- 凝固点 : 40° Be 約-20°C~-30°C
- pH : 1以下
- 溶解性 : 水、アルコール、アセトンに易溶

10. 安定性及び反応性

- 酸化性 : あり（船舶による危険物の運送基準等を定める腐食性物質に該当）
- 反応性 : アルカリと反応する。大部分の金属を侵す。
- 危険有害な分解生成物 : 熱により分解して、有毒で腐食性の塩化水素や塩素ガスを発生する。

11. 有害性情報

- 皮膚腐食性 : 強酸で腐食性が強い。
- 刺激性（皮膚、眼） : 眼には強い刺激性があり、激しい炎症を起こす。また皮膚への刺

急性毒性	激により、かゆみ、発疹、角化、着色等の皮膚障害を起こす。
	: 経口 ラット (最小致死量) LD ₅₀ 900mg/kg
	: 腹腔内 マウス (50%致死量) LD ₅₀ 260mg/kg
	: 静脈内 ウサギ (最小致死量) LD ₅₀ 7mg/kg

12. 環境影響情報

環境への流入は、pHの低下や懸濁物を増加させる。 魚毒性：74ppm で致死

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: ソーダ灰などのアルカリで中和処理する。または産業廃棄物処理業者に依頼する。
汚染容器・包装	: ポリエチレン缶は中を水でよく洗浄し、産業廃棄物処理業者に依頼する。 洗浄水は「残余廃棄物」に従い廃棄する。 いずれの場合も「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」および、関係法規・法令を順守する。

14. 輸送上の注意

容器の破損、漏洩に注意するとともに、関係法規を遵守する。

国連分類	: クラス 8 (腐食性物質)
国連番号	: 2582

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 法 57 条の2 通知対象物質
危 規 則	: 第3条告示別表第3 腐食性物質
航 空 法	: 施行規則第 194 条告示別表第 11 腐食性物質
海洋汚染防止法	: 施行令別表第1 有害液体物質 (C類)
毒物劇物取締法	: 該当しない
P R T R 法	: 第 1 種指定化学物質 (法第 2 条、施行令別表第 1) (7 1 塩化第二鉄)

16. その他の情報

引用文献等

化学大辞典 共立出版 (1976)
 化学便覧 日本化学会編 (1977)
 17322 の化学商品 化学工業日報社 (2022)
 RTECS (1985-86)
 化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS)
 化学工業日報社

当安全データシートは、令和4年6月14日現時点で入手でき得た知識、情報に基づいており、取扱い、使用、保管、輸送、廃棄などについての安全に関する情報を提供する目的で作成されたものであり、記載のデータや評価に関して、いかなる保障をなすものではありません。

それぞれの用途や用法に適した安全対策を、自己の責任で実施の上お取扱いください。